

当院における新型コロナウイルス感染の経緯と制限解除についてのお知らせ

平素は当院へ格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月14日、病棟に勤務する職員の新型コロナウイルス感染が判明し、翌日に入院患者さまが感染していることが判明しました。即座に札幌市保健所へ報告し、感染対策班の医師・看護師に何度も現場で指示をおおぎ隔離やゾーニングを行って院内の感染拡大防止に努めました。

また、職員や患者さまの感染経路の確認と濃厚接触に応じた観察、複数回のPCR検査の実施などで感染状況を随時把握してまいりました。

その結果、6月18日（金）に全ての新型コロナウイルス陽性者の職員および入院患者さまの感染リスク期間は終了し、経過観察者はゼロとなりました。

当院はこれまで外来診療については感染対策に留意しながら行っておりましたが、脳神経外科救急診療・入院の受け入れにつきましても、6月19日（土）から制限を解除し全面的に再開いたしました。

また、新型コロナ感染協力医療機関として新型コロナ疑い患者さまの脳疾患治療も対応できるようにしております。

当院では職員全員がマスク着用・検温・手洗い・アルコール消毒を徹底しております。

今後も十分な感染防止対策を継続して、患者さまと職員の安全に努め、対応していきます。

なお、面会制限も継続させていただきますので、リモート面会をご利用ください。

当院職員は患者さまへの治療を最優先に、地域医療に貢献出来るようこれからも誠心誠意、業務に取り組んでまいります。

これまで多大なご迷惑、ご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後とも何卒ご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年6月24日

医療法人 新さっぽろ脳神経外科病院
院長 山村 明範